



協会章

「北」をモチーフに、人と人のコミュニケーションを表現しました。

地域での交流を通じて相互理解を深め、お互いを尊重することで

よりよいまちづくりをめざすイメージです。

国際交流協会のホームページを開設しました

協会（KIIA）では、個人会員、法人・団体会員の皆様ならびに登録ボランティアの皆様のご支援とご協力により、このたび公式ウェブサイトを開設しました。

本協会は、平成19年10月27日に設立して以来、本年度で4年目を迎えようとしています。その間、外国都市との友好都市提携に向けて韓国務安郡へ現地調査を行うため調査団を派遣し、市では視察結果に基づいて平成20年7月9日に友好都市提携を結びました。この「交流媒体」を契機として、愛・地球博で芽生えた国際化意識を育てるために協会の設立趣旨を普及させるとともに、地域の国際化、国際理解の増進、国際友好親善を促進しています。

現在、本市には1,300名を数える登録外国人の方が住んでいます。海外都市との交流以上に、地域に生活している外国人と、どのような関係を結んでいくかが重要な課題になってきています。私たちは、お互いの文化を知り、お互いを理解する必要があります。本協会は、こうした多文化共生（国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。）社会づくりを柱に、各種の事業をこのホームページで紹介する

翻訳システムにて、英語、中国語及び韓国語にて表示することができます。
(注) 機械翻訳のため翻訳が適正でない場合がありますのでご了承ください。



ことにより、市民の方に少しでも理解していただき、気軽に交流の場に参加していただければと考えています。
今後、市の一層の国際交流化を図るに当たり、市民、団体、企業などの幅広いご支援をいただき、事業展開を図ってまいりますので、ご支援、ご協力をお願いします。

平成
22年度
事業

多文化共生社会づくりに向けて 人材の育成と交流を重点に

4月29日、市文化勤労会館において、協会の通常総会が開催され、平成22年度の事業計画が決定しました。

●本年度の重点目標

- ・多文化共生社会づくりを担う人材の育成
- ・外国人と市民との交流を促す仕組みづくり
- ・国際交流・国際理解事業の推進

●事業計画

- ・国際フェア（国際屋台）
市内在住の外国人と市民との交流の場として、商工祭においてアジアの国々のさまざまな食べ物や物産の販売コーナーを出店します。
- ・世界博覧会絵画募集
2012年韓国全羅南道麗水市で開催される博覧会において展示する絵画を募集します。
- ・多文化共生社会づくり講座
会員やボランティア、一般市民を対象にした専門家による5回程度の連続講座です。
- ・国際交流子ども芸術教室
芸術創造活動を通して留学生と児童生徒の交流を図ります。
- ・国際交流ボランティア講座
協会のボランティアを養成する講座です。

・通訳ボランティア派遣

要請に応じて通訳ボランティアを団体や企業などに派遣するもので、会員には補助がありません。

・韓国語・中国語講座

引き続きの開設です。韓国語講座については「入門コース」を新たに設けます。

・日本語ボランティア指導員の研修・養成講座

指導員の資質を高めるための研修会です。

・子ども日本語教室

引き続きの開催です。

・成人日本語教室

基礎的な日本語の習得と資格取得をめざす外国人のための教室です。

・国際交流事業助成

市内で行われる国際交流事業に補助します。

・語学学習グループ助成

市内の外国語学習グループに補助します。

・機関紙発行

協会の活動や催事の紹介、各種講座等の案内、会員募集などを掲載した機関紙を発行します。

・ホームページの充実

定期的に協会ホームページを更新します。

平成21年度事業報告

・国際フェア（国際屋台）

11月3日、健康ドーム、尾張中部福祉の杜広場で開催された第一回商工祭においてアジアの国々のさまざまな食べ物や物産の販売コーナーを本協会の会員、ボランティア及びその他の各種団体の協力を得て出店しました。



・万博絵画展示

中国・上海市で開催される国際博覧会に合わせて日本と上海の子どもたちの絵をオプジェなどに加工し会場に飾る日中友好「子供たちのアート・国際交流展」に、前回のスペイン・サラゴサ万博に続き、今回のテーマ「より良い都市、より良い生活、『まち』」に合わせた絵画募集事業に市内の小学校、保育園及び幼稚園に参加を呼びかけ、461点を応募し、最高賞である万博大賞などを獲得、好成績をあげました。

・韓国語・中国語講座

引き続き4月から初級講座を開設しました。

平成21年度協会収支決算 (単位:円)

【収入の部】	
負担金 (会費)	493,000
補助金・助成金	6,538,000
諸収入	682,808
繰越金	421,807
計	8,135,615
【支出の部】	
事務費	1,084,649
(報償費・旅費・交際費・需用費・役務費・備品購入費等)	
事業費	6,297,979
(報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金・補助金等)	
計	7,382,628
【次年度繰越金】	752,987

平成22年度協会予算 (単位:円)

【収入の部】	
負担金 (会費)	515,000
補助金・助成金	5,940,000
諸収入	851,000
繰越金	752,000
計	8,058,000
【支出の部】	
事務費	1,180,000
(報償費・旅費・交際費・需用費・役務費・備品購入費等)	
事業費	6,838,000
(報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金・補助金等)	
予備費	40,000
計	8,058,000

予算、決算とも詳しくは協会までお問い合わせください。

・ボランティア研修会

JICA中部(独立行政法人国際協力機構 中部国際センター)で、国際理解と国際協力についての研修会を行いました。

・子ども日本語教室

日本語がほとんどわからない児童生徒を対象に毎土曜日(コミュニティセンター)の午前から毎木曜日(市内小学校)の午後に開設しました。

・成人日本語教室

市内に居住、在勤する外国人の方を対象に、日本社会への適応能力の向上と、日本語の基礎を身につけさせるため、日本語の習熟度によって、初級、中級、上級の3つのコースに分かれて、週1回金曜日の夜に開設しました。

・日本語教室ボランティア研修会

日本語ボランティア指導員を対象に、日本語教室の指導や運営について講師を招き研究会と意見交換会を行いました。

・多文化共生社会づくり講座

会員及び一般を対象に、多文化共生社会づくりをめざすため、アジア文化を中心に7月から3月の間に5回の国際理解講座を開催しました。

・ボランティア登録

通訳・翻訳21名、イベント31名、日本語教室28名、ホームステイ3名、生活相談2名の合計85名を登録しました。

・機関紙の発行

7月、10月及び4月に市の広報に折り込み全戸に配布しました。

・国際交流事業補助

団体等が行う国際交流事業4件に補助しました。

・国際交流教材等の作成

県国際交流協会の「一市町村一国フレンドシップ交流推進事業」に参加し、国際交流教材を作成しました。

・ホームページの作成

外国人の方でも確認できる多言語対応の協会ホームページを作成しました。

・協会旗作成

名古屋芸術大学の交換留学生

私たちの国際交流⑥

4月からの前期交換留学生は、イギリスから6名、スウェーデンから1名、ドイツから1名合計8名が来日。日本の学生と一緒に勉学に励んでいます。

日常生活ではアパートで自炊をして、お屋のお弁当を作り、自転車ですぐに大学に通い、工房での作品制作に毎日励んでいます。2ヶ月が経ち、名古屋市の住み心地を聞いて見た所、家庭菜園や野菜作りをしている風景はとてものどかで気に入っている様子。驚いたのは、家が急に壊され、すぐに新しい家が建つことです。

イギリスでは外壁は石造りなので、壊される事はまずありませんし、いつもの風景が変わる事はないようです。この建物はまだ新しく1600年代に建てられたと紹介してくれた友人の事を思い出しました。

また、日本人は騒音に対して余りにも鈍感で、交通量の多い地域はともかく、住宅街では、もう少し静かに暮らす事が出来ると良いと話していました。イギリスでは、朝の新聞や牛乳配達の手は、30年前から電気自動車を使って、エンジン音や騒音に気を使っている点は日本も見習うべきです。

日本の魅力は、京都や奈良の風景ではなく、地域のコミュニティや文化を継承し、「マナーを守り、心豊かな生活環境を市民の皆さんと築く事」だと改めて気づかされました。名古屋芸術大学交換留学生展が、名古屋芸大アート&デザインセンターで7月2日〜7日まで開催されます。ぜひご覧ください。

名古屋芸術大学国際交流センター長 和田義行

○国際交流子ども芸術教室
留学生&芸大生と一緒に
モニュメントを描く 参加者募集

協会では、小学校の夏休み期間を利用して「こども芸術教室」を開催します。

この事業は、名古屋芸術大学に留学中の外国人の方を招き、市内に設置されたモニュメント（彫刻等）と一緒に描くことにより、子どもさんの国際感覚と都市景観としての屋外美術館の楽しさを味わってもらうものです。

この機会に、市が進めている「彫刻のあるまち」の作品に触れていただき、生活の中に美しいものを感じる力を芽生えさせてみてください。

- ・期 日 平成22年7月22日（木）
- ・時 間 午前10時から午後3時（途中正午より昼食時間を設けます。）
- ・会 場 名古屋芸術大学 西キャンパスデザインX棟1階共通工房
- ・対 象 小学生
- ・定 員 30名程度（小学生低学年は、保護者の参加をお願いします。）
- ・費 用 無料
- ・持 物 昼食（弁当）、絵の具、クレヨン等絵画を屋外で描けるようにご準備ください。（画板は、協会でご用意します。）
- ・申 込 み 7月15日（木）までに電話、はがき、FAX、Eメールで協会へ。



第1回多文化共生社会づくり講座
アフリカ・ルワンダの今

国際交流協会では、「国籍や民族の違いなどにかかわらず、ともに学び、働くことができる、豊かで活力ある北名古屋市」を目指して、多文化共生社会づくり講座を開催します。第1回目は、「アフリカ・ルワンダの今」と題して元青年海外協力隊員加藤悦子氏のお話です。ぜひ、ご参加ください。

- ・と き 7月17日（土）午後1時30分～3時30分
- ・と ころ 文化勤労会館 研修室（2F）
- ・定 員 30名程度
- ・内 容 青年海外協力隊員から始まるルワンダとの関わりから、ルワンダの歴史と現状、環境、暮らし、文化など、直接見聞された事柄をお話いただきます。

日本人になじみの薄いルワンダ共和国ですが、記憶にあるとすれば、1994年に世界を震撼させた「ルワンダ大虐殺」。

わずか100日間でおよそ100万人の犠牲者を出した痛ましい事件。過去の悲しみを背負いながらも豊かな自然に支えられ、ささやかに生きるルワンダの今を紹介させていただきます。

日本人になじみの薄いルワンダ共和国ですが、記憶にあるとすれば、1994年に世界を震撼させた「ルワンダ大虐殺」。



- ・講 師 加藤 悦子（かとうえつこ）氏
- ・申し込み 7月15日（木）までに電話、はがき、FAX、Eメールで協会へ。

ボランティア募集

協会では、協会やその他の団体、協会員などが行う事業や行事等で通訳や翻訳をしていただいたり、事業の企画や事業に力を貸していただける方を募集しています。

- 通訳・翻訳ボランティア
- イベントボランティア
- 外国人生活相談員
- 日本語教室ボランティア

会員募集

協会では、市民と外国人との交流、海外都市との交流、外国文化の理解などの事業に積極的に取り組んでいます。国際交流を進める事業を通して、私たちの暮らす日本を見つめ直し、理解を深めることで、より豊かなまちづくりをめざします。活動の趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

- 個人会員 1口 年額2000円
- 団体会員 1口 年額5000円
- 法人会員 1口 年額5000円

各種申し込み、お問い合わせ等は、左記までお願いします。

〒4818531 北名古屋市西之保清水田15
北名古屋市役所（西庁舎）内
北名古屋市国際交流協会
電 話 0568-11111 内線2376
FAX 0568-11800
Eメール info@kitanagoya-kiia.jp
ホームページ URL http://www.kitanagoya-kiia.jp